参考

保護者の皆様へ

新型コロナウイルス感染症対策

～「新しい生活様式」を踏まえた家庭での取組～

新型コロナウイルス感染症から子供たちを守り、お子様が安心・安全な学校生活を送ることが出来るよう、ご家庭においても「新しい生活様式」を踏まえた取組にご協力をお願いします。



1　毎日の健康観察

・毎日、登校前にお子様の健康観察（発熱や風邪症状の有無の確認）を必ず行う。
・発熱等の症状がある場合は、自宅で休養させる。
・感染がまん延している地域は、学校からの依頼に基づき、同居のご家族に発熱等の風邪症状がみられる場合には、登校を控える。

2　手洗いの励行

・家に帰ったらまず手や顔を洗う。
・手洗いは３０秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う。
（手指消毒薬の使用も可）



3　咳エチケットの徹底

・咳、くしゃみをする際、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえる。



4　３密の回避（密閉、密集、密接）

人と集まる時や外出する際は、次のことに気を付けてください。

○「密閉」の回避

・**こまめな換気**
気候上可能な限り常時行い、困難な場合はこまめに（３０分に１回以上、数分程度、窓を全開する）、２方向の窓を同時に開けて行う。

○　[密集]の回避

・**身体的距離の確保**
飛沫感染を防ぐため、できるだけ人と人との距離を確保すること。

○「密接」の回避

・**マスクの着用**
外出する時は、できるだけマスクを着用する。ただし、気温や湿度が高く、気分が悪い場合や、熱中症になりそうな場合には、マスクを外す。
室内でも家族以外の人と交流する際はマスクを着用する。







5　抵抗力を高める

免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動やバランスの取れた食事を心がける。

★ 学校生活の中でいかに感染防止を徹底しても、仲の良い友人同士の家庭間の行き来や家族ぐるみの交流を通じて感染が拡大してしまうと、学校全体の教育活動が出来なくなってしまうことがあります。特に会食の際には、対面を避けるなど、「新しい生活様式」を参考にして工夫していただき、感染が広がらないようにご配慮をお願いします。

作成：文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課